

大会名 Competition	第59回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技 女子決勝
NO. M-2	Year Month Day Time 2013 年 6 月 4 日 11 : 40
場 所 Place	秋田市立体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B															
湯沢翔北	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>29</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	17	1st	13	29	2nd	6	22	3rd	13	23	4th	16	OT			能代松陽
17	1st	13															
29	2nd	6															
22	3rd	13															
23	4th	16															
OT																	
91		48															
○		●															

主審:Referee
小野寺 浩 (秋田)
副審:1stUmpire
高根 聡 (秋田)
副審:2ndUmpire
疋田 晋 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
聖霊女子短期大学付属高等学校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	／	藤原 麻都		2	0	1	0	1	4	×	今野 唯	CAP	2	0	1	0	2
5	×	大野 真湖		20	0	10	0	4	5	×	檜森 美樹		4	0	2	0	3
6	／	松田 有紀		14	2	4	0	1	6	×	石川 南奈子		11	1	3	2	0
7	×	阿部 優美香	CAP	18	3	4	1	0	7	×	山谷 璃菜		14	0	5	4	3
8	／	高橋 奈々		2	0	1	0	1	8	×	石川 可奈子		2	0	1	0	1
9	／	最上 朝香		9	0	2	5	0	9	／	西根 利奈		2	0	1	0	2
10	×	宮野 茉恵		0	0	0	0	4	10	／	本間 麗		4	0	1	2	3
11	／	長澤 のぞみ		4	0	2	0	0	11	／	加藤 優実		9	3	0	0	1
12	×	柴田 知恵		11	3	0	2	0	12		松橋 歩夏		-	-	-	-	-
13	×	加藤 杏香		4	0	2	0	2	13		青山 美咲		-	-	-	-	-
14	／	加藤 舞		0	0	0	0	0	14		福岡 知樹		-	-	-	-	-
15	／	松浦 まりん		0	0	0	0	1	15		西村 莉奈		-	-	-	-	-
16	／	柿崎 瑞季		0	0	0	0	0	16		安田 有花		-	-	-	-	-
17	／	高橋 美希		3	1	0	0	0	17		西村 愛莉		-	-	-	-	-
18	／	渡邊 美穂		2	0	1	0	0	18		児玉 菜摘		-	-	-	-	-
19	／	佐々木 美咲		0	0	0	0	0	19		後藤 理紗		-	-	-	-	-
20	／	佐藤 愛莉		0	0	0	0	2	20		鈴木 奈百合		-	-	-	-	-
21	／	和泉 華音		2	0	1	0	0	21		瀬川 陽菜		-	-	-	-	-
コーチ		樋渡 真裕							コーチ		杉澤 斉						
Aコーチ		熊谷 傳裕							Aコーチ		袴田 梨々佳						
合計				91	9	28	8	16	合計				48	4	14	8	15

※×:スター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

今大会の決勝は3年連続、優勝を狙う湯沢翔北と、新設校の能代松陽との対戦となった。

第一ピリオド 両チームともにハーフコートのマンツーマンでスタート。最初の得点は湯沢翔北が#5大野のゴール下でシュートを決めた。その後も#5大野を中心に攻めた湯沢翔北が8-0でリード。一方、能代松陽は攻撃を組み立てようとするが、思うように展開することができず、開始から3連続ターンオーバーになった。しかし、残り7分能代松陽#6石川のミドルシュートが決まり、8-2とした。その後、湯沢翔北が#12柴田の3Pシュートで加点するものの、そこから両チームともシュートが決まらず膠着状態が続いた。お互いに、インサイドからも攻めようと試みるがうまく攻められず、辛うじて湯沢翔北が3Pシュートで得点し残り2分で14-7とリード。この段階でリバウンドはほぼ互角の争いとなり、両チームともに主導権を奪いきれずにいた。第1ピリオド終盤には能代松陽#11加藤の3Pシュートが決まり、17-13で湯沢翔北のリードで終了。

第二ピリオド 湯沢翔北#9最上のドライブや#13加藤のスティールから#9最上の速攻が決まり22-13。さらに#5大野がミドルシュートやポストプレイ、さらに#5大野と#7阿部の制限区域内での連携プレーでインサイドを制圧し始め、残り7分で26-13とした。この間、能代松陽は#10本間のドライブや#5檜森のカットインで得点を狙うが、湯沢翔北のディフェンスを崩しきれずターンオーバーが続いた。ここから4分までは湯沢翔北#5大野や#13加藤のスティールによって得点を伸ばし、#5大野がゴール下からのシュートを狙いバスケットカウントを得て34-15として主導権を握り、その後も湯沢翔北の#6松田の3Pシュート、#9最上のゴール下シュートで点数を重ねた。一方の能代松陽は#5檜森、#6石川の3Pシュートが決まらず、苦しい展開になったが、#9西根がオフェンスリバウンドを奪い加点する。さらに#7山谷のゴール下のシュートが決まり、46-19で湯沢翔北のリードで前半を終了。

第三ピリオド 能代松陽は1-2-1-1のゾーンプレスでプレッシャーを加えながら#6石川、#7山谷がポストからの攻撃を重ね、ファウルを得てフリースローを決め48-21と追いつがる。しかし、湯沢翔北は全員でオフェンスリバウンドを奪い取り、攻撃回数を増やし、追撃を許さず68-32とする。

第四ピリオド 能代松陽もオフェンスに思い切りの良さが見られるようになり、インサイドとアウトサイドの連携や外角のシュートで加点する。一方、湯沢翔北は選手交代を行い、交代選手が元気よくプレーをして得点を重ね、91-48として試合を締めくくった。

立ち上がり、リズムに乗りきれずにいた湯沢翔北であったが、厳しいディフェンスと積極的なオフェンスでゲームを支配し、3年連続3回目のインターハイへの切符を手に入れた。